



KUMAMOTO

GREEN Rotary-Club

The Weekly Bulletin

Kumamoto green rotary-club district 2720 rotary international



国際ロータリー

「人類に奉仕するロータリー」

R.I.会長 ジョン.F.ジャーム

地区方針

「学ぶ・守る・育てる・未来へ向けて」

R.I.2720地区ガバナー 前田真実

熊本グリーンRC

「ロータリーを育て行動しよう」

熊本グリーンRC会長 河島一夫

■例会日：毎週月曜日 18:30~19:30
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：河島一夫 ■幹事：葉高源 ■会報担当：長野義文
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

国際ロータリー
第2720地区

熊本グリーンロータリークラブ週報

【2017年4月24日】

第1256回

2016-2017年度 第36回

【例会】

1. 開会・点鐘 18:30

2. 食事と交歓

「我等の生業」(ロータリーソング)

来訪者紹介 (大友 利行 直前会長)

なし

友情の握手

会長スピーチ (大友 利行 直前会長)

河島会長、河野次年度会長とも、所用で出席出来ないとの事で、急遽役が回ってきました。

天草パールラインRCは二十周年の行事にアフガンで水路建設をすすめている医師、中村哲氏の講演会を催したとの事を聞き、何かのコネでもあったのかと会合で伺ったら、そうではなくパシワール会に電話して、氏が日本に帰られる時を聞いて決めたとの事でした。1984年からパキスタン、アフガンで医療支援と井戸掘りをしてこられた経験から、海外援助の問題点は、現地の需要よりも援助する国の国民に理解されやすい援助をする傾向で、援助がされると上部構造ばかりに援助が向いて結果、政府高官や建築業者など一部の人は豊かになり、一般人はさらに貧しくなるという現実のようです。その中で犠牲になるのはいつも子供達だそうです。戦争で亡くなり、赤痢やコレラ、そしてインフルエンザやマラリアなどの感染症で

多くの子供達が亡くなっているとの事です。現在、首都カーブルの大きな病院ですら、医薬品不足でまともな治療が出来ない有り様だそうです。全土で干ばつが深刻化して400万人もの人々が飢餓状態で、医療では飢えや渴きは解決されません。

そこで2003年以降、仕事の中心は用水路建設となり、土地を干ばつから蘇らせ、穀類を生産して多くの人々が暮らせるようにすることだそうです。気が遠くなる事業です。一般人が食べていけなければ、物取りなどの犯罪が増え、治安も悪くなってくのはどこの国でも同じです。中村哲さんが活動してゆけるのは日本人だからだそうです、日本人の非軍事的なイメージが、長い間に築かれているからだとの事で「憲法九条の実行」とは、こういう非軍事的支援ではないかとの事です。我がグリーンクラブの三十周年では、一般の人々を巻き込んでの講演会を催して、その経験と意義を伺うのも如何かと思ったことでした。

幹事報告 (中島 三千代 次期幹事)

■ 報告事項(その他のロータリー関係)

①「2017~18年度地区会員増強セミナー」のご案内

日時：平成29年5月27日(土)

12:30~16:30(受付12:00~)

場所：熊本学園大学

続く

卓話予定

- 5/8 「ネットトラブルについて」 本田 悟士 会員
- 5/15 新旧クラブ協議会(今年度委員会活動報告及び次年度への引き継ぎ)
- 5/22 丸山 徹 会員卓話
- 5/29 松村 秀逸 会員

【熊本グリーンRC ホームページアドレス】 <http://www.kg-rc.com/>

研修テーマ：「会員増強の現状と長期的戦略」講師 2740地区長崎琴海RC 佐藤豊氏

出席者要請者：次年度の会長、幹事、会員増強委員長

■ 例会変更・取止め

<取止め>

下記の例会は定款第6条第1節に基づき取りやめます。

【熊本菊南RC】 5月31日(水)

出席報告 (中島 三千代 会員)

	会員総数	22名	出席率
4月24日	出席免除会員数	2名	45.00%
	計算上会員数	20名	
	出席会員数	9名	
4月10日	前回の出席会員数	13名	%
	メイクアップ数	0名	
	修正出席会員数	13名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
なし			

委員会報告

「地区研修協議会の報告」

報告者：河野景治次年度会長

スマイル (福島 和見 会員)

●大友 利行 君
「風邪も峠を越え、少しは楽になりましたが、伊津野先生の「アルコールは駄目ですよ」とのご忠告を守っていますので、禁酒しています。急遽会長代理ということで次年度のネクタイをして参りました。中島会員の卓話楽しみにしています。宜しくお願いします。」

●田中 純司 君
「先週は所用の為、欠席し、SAAを荒木会員にお願いしました。お世話になりました。今日の中島三千代会員の卓話お疲れ様です。」

●上田 観一 君、栗山 義則 君
長野 義文 君
①「今日は中島三千代会員の卓話楽しみにしていました。楽しいお話を宜しくお願致します。」
②「昨日4月23日は43回目の結婚記念日でした。美味しい料理とうまいワインをいただきました。金婚式まで元気に頑張りたいと思います。」
③「春のバラ展のハガキを皆様見て下さい。5月5日～5月7日、鶴屋東館8Fにて開催されます。見に来て下さい」

●本田 悟士 君
「遅刻してしまい申し訳ありません。毎週月曜日16:30～の弁護士会執行部から解放されて、ロータリーは全回、無遅刻、無欠席だ！と意気込んでいた矢先…。反省を込めてスマイルします。」

●福島 和見 君
①「先週末、無事に株主総会を終え、“ほっ”とした気持ちでスマイルさせていただきます。」
②「先週ローターアクトに出席した際、卓話が山下大樹君の「自分史」で赤ちゃん～20才までの軌跡が写真で綴られていました。ロータリーの皆さんの自分史も聞けるチャンスがあれば・・・と思った時間でした。モノクロ写真に過ぎた時代の重さを感じるのも時にはいいものだと思います。」

3. 例会プログラム

卓話者：中島 三千代 会員
「女性会員増強について 他」



4. 閉会・点鐘

ソーラーパネル外灯を阿蘇市仮設住宅に寄贈（阿蘇 RC）

2017年02月15日

奉仕プロジェクト部門長

柳田 真美（阿蘇 RC）

阿蘇ロータリークラブでは仮設住宅を管理する阿蘇市へソーラーシステム外灯を合計12基寄贈しました。昨年4月に発生した熊本地震により被害に遭われ、仮設住宅での生活を余儀なくされている皆さんより、「周りに外灯がなく、夜帰宅すると足下も真っ暗で、鍵穴も見えず、心細く、悲しい気持ちで落ち込んでいる。」という話を聞き、少しでも心の中まで明るくなるような灯を届けられればという思いで今回の寄贈となりました。住民の方からは「仮設住宅に暮らす多くが高齢者。防犯面でも役立つし、ありがたい」とお話をいただきました。



2月19日 職業奉仕プロジェクト報告 (大分開催)

職業奉仕プロジェクト委員長 佐藤憲幸

『「女子高生社長経営を学ぶ」椎木里佳氏と隆太氏の話聞き感動しました。

これから勇気を出して前向きに考えてビジネスに成功したいです。本当に参考と勉強になりました。最高の勉強の一日でした。』(一部抜粋) 別府大学4年生(米山奨学生) この文章は講演後ロータリー事務局にきたメールです。

2月19日地区職業奉仕プロジェクト「きみも起業してみないか!」椎木里佳さん、椎木隆太さん親子による第1部「起業を語る」トークショー、第2部ワークショップが開催されました。

第一部は里佳さんが語り隆太さんが話を受けて展開する親子でのトークショー形式ですすめました。

「なぜ会社をつくりようと思ったの?」「他にしたいことなかったの」といった隆太さんの質問に明快に答えていく里佳さん。語り口調や語彙はまさに今どきのギャルなのですが、語る内容は確固とした自身の考えと経営者としての視点があり、そのギャップに驚かされます。

隆太さんは「子どもを育てるのは社会・学校・家庭であるが、中でも家庭が大切。常に子どもを励まし、どんなことでも出来るんだとある意味子どもを勘違いさせることも大事。その勘違いが子どもが社会の中でチャレンジしていくエネルギーになる」と語ります。

「今特に目標がなければ焦らず目の前にあることを精一杯やっつけていけばいい。そうして今よりも高いところに登れば、また見えてくる景色も違ってくる」ということをお二人ともに語っていたのが印象的でした。

